

「枚方市水道ビジョン 2022」（素案）、「枚方市下水道ビジョン 2022」（素案）についての パブリックコメント実施結果について

「枚方市水道ビジョン 2022」（素案）、「枚方市下水道ビジョン 2022」（素案）に係るパブリックコメントについて、市民の皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する本市の考え方を以下のとおり公表します。

【パブリックコメントの実施概要】

実施期間	令和 3 年 11 月 30 日（火）から令和 3 年 12 月 20 日（月） 21 日間
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> • 市ホームページの入力フォーム、電子メールでの受付 • 郵便、F A X、意見回収箱による書面での受付
意見回収箱設置場所	上下水道局庁舎、市役所本館・別館、各支所、各生涯学習市民センター 計 17 ヶ所
周知方法	広報ひらかた、市ホームページ、市政情報モニターに掲載の他、市公式 SNS（Twitter、Facebook、YouTube）、携帯・スマホアンケートを活用し周知
意見提出者数	6 名
公表意見数	水道ビジョン 2022 12 件 下水道ビジョン 2022 2 件 ※類似のご意見については、まとめて記載しています。

【提出された意見の内容及び意見に対する市の考え方】

No.	対象のビジョン	意見の内容（要旨）	件数	市の考え方	意見反映
1	水道	ビジョンが抽象的で具体的な説明がない。	1	<p>水道ビジョン 2022（素案）は、基本理念と将来の理想像、取り組みの方向性をお示ししたものであるため、方向性に基づく、具体的な施策は、下位計画の枚方市水道施設整備基本計画や枚方市水道事業経営戦略等に記載しています。</p> <p>【参考 URL】</p> <p>「枚方市水道施設整備基本計画」 https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000023247.html</p> <p>「枚方市水道事業経営戦略」 https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000023234.html</p>	素案 どおり
2	水道	公民連携で水の安全と安定供給は、どのように担保するのですか。	1	<p>水道水の安全は、これまでも局職員による水質の監視と検査とともに浄水施設運転管理委託による民間活力の活用で確保してきました。今後も水道ビジョン 2022 の P. 8 の基本方向の「安全」でお示ししているとおり、水質管理体制の強化により、上下水道局が責任を持って、確保します。また、同じく P. 8 の基本方向の「強靱」に記載の水道施設等の適切な維持管理と計画的な更新と耐震化により、安定供給を行っていきます。</p>	素案 どおり

No.	対象のビジョン	意見の内容（要旨）	件数	市の考え方	意見反映
3	水道	総括原価に基づく料金制度により、水道料金はどのようになるのか。安易に総括原価方式にするのではなく、安全な水を廉価に安定的に供給するのかを示すべきである。	2	<p>水道ビジョン 2022（素案）の P. 9 にお示しした総括原価とは、安全安心な水が合理的な対価をもって、蛇口から流れる日常が当たり前が続くための経費を算出するための計算方法です。</p> <p>総括原価は、水道施設で必要な電気代や薬品などにかかる経費、お客さまに届けるための管路の維持管理にかかる経費のほか、水道施設の建て替えや管路の入れ替えのためにかかる経費などで成り立っています。</p> <p>総括原価の算定にあたっては、これらの経費が必要最小限となるような企業努力を行うことを前提としています。</p> <p>これらにより算出された総括原価と、実際の水道料金収入が一致する料金制度のことを総括原価方式といいます。</p> <p>総括原価方式を基本する料金制度の構築に向けた定期的な見直しを行うことにより、将来世代へ負担の先送りを行わず、現役世代が責任を果たすことにつながると考えています。</p>	よりわかりやすくするため、用語解説を修正します。

No.	対象の ビジョン	意見の内容（要旨）	件数	市の考え方	意見反映
4	水道	人口減少などによる水需要の減少が予測されるならば、水需要の減少に基づく今後の料金推移を示すべきである。	1	<p>今後の料金推移については、下位計画の枚方市水道施設整備基本計画で予測される水需要の減少等、一定の条件下で財政シミュレーションを行い、水道施設・管路の維持に必要な財源確保のための供給単価の推移を給水原価の推移とともにお示ししています。</p> <p>また、枚方市水道事業経営戦略においても令和元年から10年までの収支計画（収支見通し）をお示ししています。</p> <p>【参考 URL】</p> <p>「枚方市水道施設整備基本計画」 https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000023247.html</p> <p>「枚方市水道事業経営戦略」 https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000023234.html</p>	素案 どおり
5	水道	施設総量の最適化によるダウンサイジングやスペックダウンで給水を行わない地域を生じさせないでほしい。	2	<p>水道ビジョン2022（素案）のP.9にお示しした施設総量の最適化は、これまで行政区域の拡大や急激な人口増加に対応するため整備してきた水道施設・管路について、更新の際は、現在や将来の人口減少に伴う水需要の減少に合わせて、管路の口径を小さくするなど適正な規模にすることを示しています。</p>	素案 どおり

No.	対象のビジョン	意見の内容（要旨）	件数	市の考え方	意見反映
6	水道	<p>「大阪広域水道企業団を核とした府域一水道などの広域化・広域連携により経営的、技術的に持続可能な運営体制を構築する」とあるが、市で中宮浄水場を運営する必要があるのか。</p> <p>大阪広域水道企業団の村野浄水場に集約し、維持管理コストを削減するべきではないか。</p>	1	<p>中宮浄水場については、大阪広域水道企業団から水を購入し、中宮浄水場を廃止することや縮小する手法について比較検討を行った結果、市（上下水道局）による運営が最も維持管理コストを節減できる手法であるとしています。</p> <p>また、大阪府が主催する「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」において危機管理上（バックアップ）、必要な浄水場であるとの位置づけがされています。</p>	素案どおり
7	水道	<p>公民連携による運営基盤の強化を進める中で、事業を担う人材確保と技術の継承はどのように行うのか具体的に示すべきである。</p>	1	<p>水道ビジョン2022（素案）のP.9にお示ししたとおり、組織力強化のために業務に精通する専門性の高い職員を適切に配置できる体制を継続するとともに人材育成や技術継承にも取り組んでいくため、文言を追記します。</p> <p>具体的な取り組みとしては、枚方市人材育成基本方針を基本に職場内外の研修を通じて、技術の継承を含めた人材育成を推進する考えです。</p>	「人材育成や技術継承」の文言を追記します。

No.	対象のビジョン	意見の内容（要旨）	件数	市の考え方	意見反映
8	水道	海外では、公民連携手法の民営化による水道料金の高騰等から、再公営化した例がある。水道は生命に直結するインフラです。民営化はするべきではない。	2	運営基盤の強化については、今後も行政としての役割や責任を果たしていくとともに水道ビジョン2022（素案）のP.9にお示ししたとおり、まずは、大阪広域水道企業団を核とした広域化・広域連携による経営的、技術的に持続可能な運営体制の構築をめざします。また、民間委託やデザインビルド方式（DB：設計施工一括発注方式）などによる民間活力の活用といった公民連携により、質の高いサービスの調達や事業コストの削減を進める考えです。	素案 どおり
9	水道 下水道	取り組みをもっと情報発信し、双方向の対話で市民の納得を得るべきではないか。	1 1	水道ビジョン2022（素案）のP.9、下水道ビジョン2022（素案）P.10で「積極的な広報活動」をお示ししており、事業に関する取り組みや経営状況について情報発信を行うとともに、施設見学や現場見学、出前講座等の機会を利用して、市民、利用者の皆様のお声を聴く考えです。	素案 どおり
10	下水道	公民連携の手法である民営化はするべきではない。	1	運営基盤の強化については、今後も行政としての役割や責任を果たしていくとともに下水道ビジョン2022（素案）のP.10にお示ししたとおり、公民連携、広域化・共同化などの新たな手法に取り組みます。公民連携では、民間委託やデザインビルド方式（DB：設計施工一括発注方式）などによる民間活力の活用により、質の高いサービスの調達や事業コストの削減を進める考えです。	素案 どおり

※ご意見について、一部文言を整理しています。